



2025年3月期 第3四半期

決算説明資料

東証スタンダード・福証 証券コード8596

2025年2月

株式会社九州リースサービス

1 2025年3月期 第3四半期決算の概要

2 セグメントの状況

3 2025年3月期 業績予想の概要

1

2025年3月期 第3四半期決算の概要

1 3Q累計は対前年で増収増益の実績

リース・割賦事業を中心に新規契約が堅調に推移し、ベース収益が着実に増加あわせて、リース物件売却や販売用不動産売却など営業資産の入替えによる収益も計上し、期初からの増収増益基調を継続

2 営業資産残高は1,861億円（前期末比+40億円、2.2%増）

販売用不動産の売却により不動産事業において減少したものの、リース・割賦事業における積極的な積み上げにより、全体としては増加基調を維持

3 通期業績予想及び配当予想は11月6日公表の予想を据え置き

3Qの業績は売上高・各利益段階ともに概ね順調に推移
通期業績予想及び配当予想は、直近公表値を据え置き

※11月6日付リリース「2025年3月期通期連結業績予想の修正（上方修正）及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」を参照

2025年3月期 第3四半期決算概要

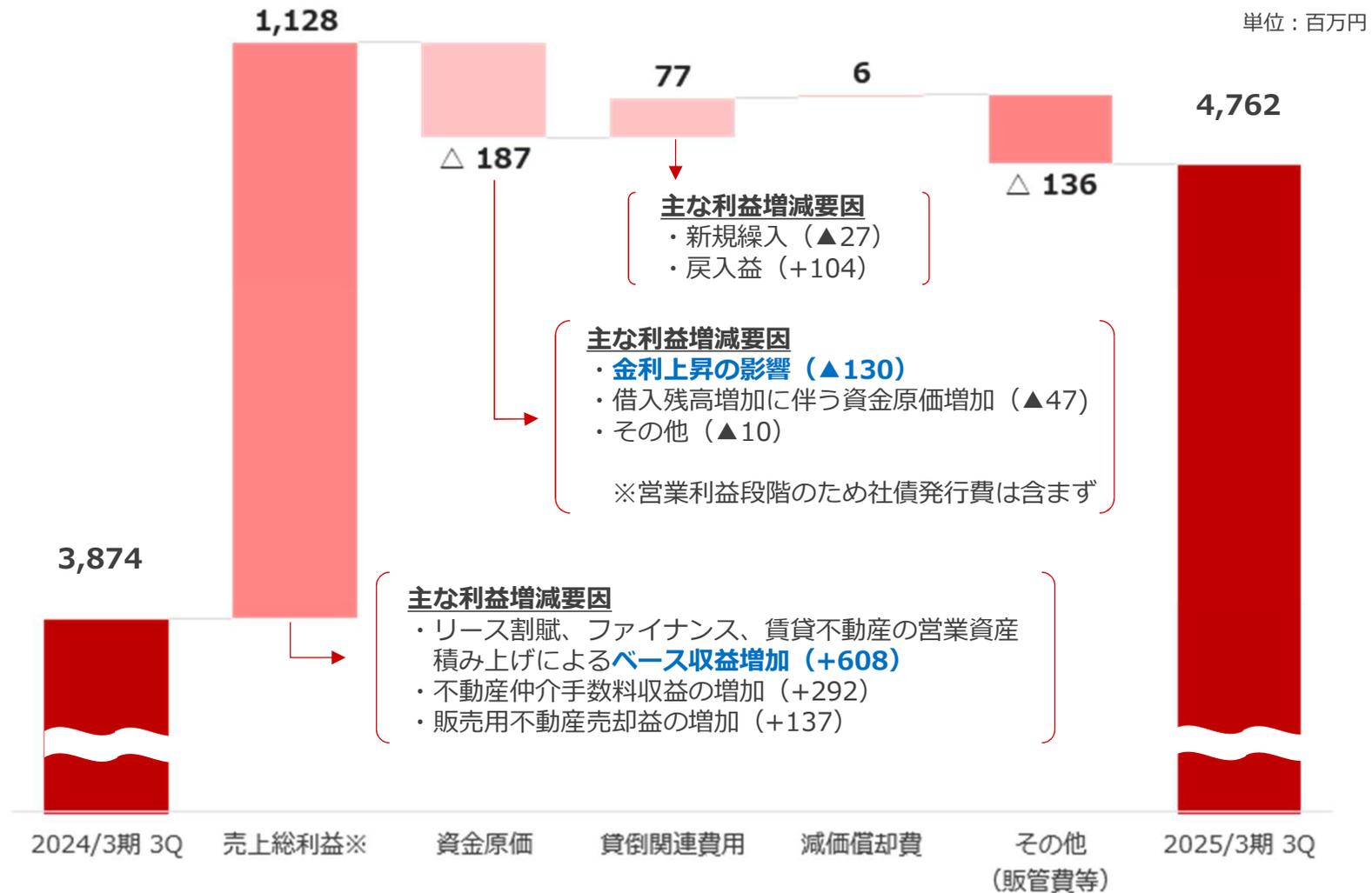
- 売上高は前年同期比+78億円の大幅な増収。新規契約が堅調に推移したことによる増収とあわせて、リース物件売却収入や不動産売却収入が寄与。
- 利益面では、営業資産積み上げによるベース収益の着実な増加に加え、不動産売却や仲介収入が好調に推移し、金利上昇に伴う資金原価の増加を上回る収益を確保

単位：百万円、%

	2024/3期3Q		2025/3期3Q			
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	24,311	100.0%	32,193	100.0%	+7,882	32.4%
営業利益	3,874	15.9%	4,762	14.8%	+888	22.9%
経常利益	3,820	15.7%	4,702	14.6%	+882	23.1%
当期純利益 ※	2,605	10.7%	3,000	9.3%	+395	15.2%

※ 親会社株主に帰属する四半期純利益、以下同じ

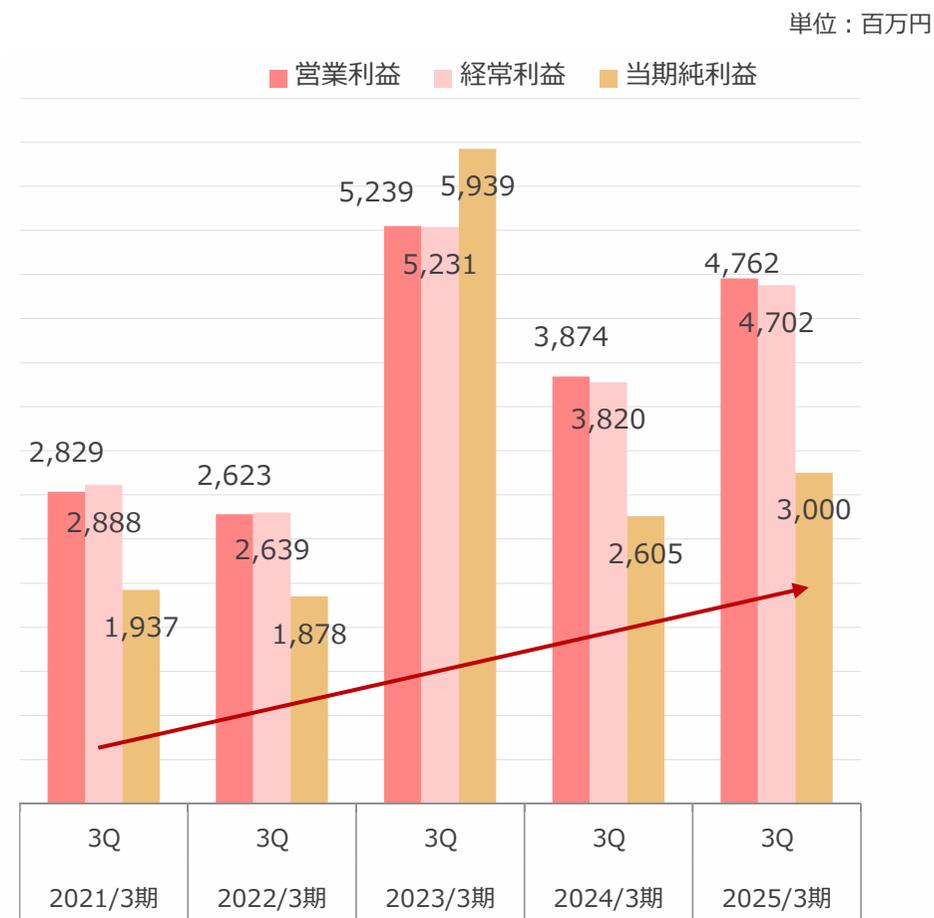
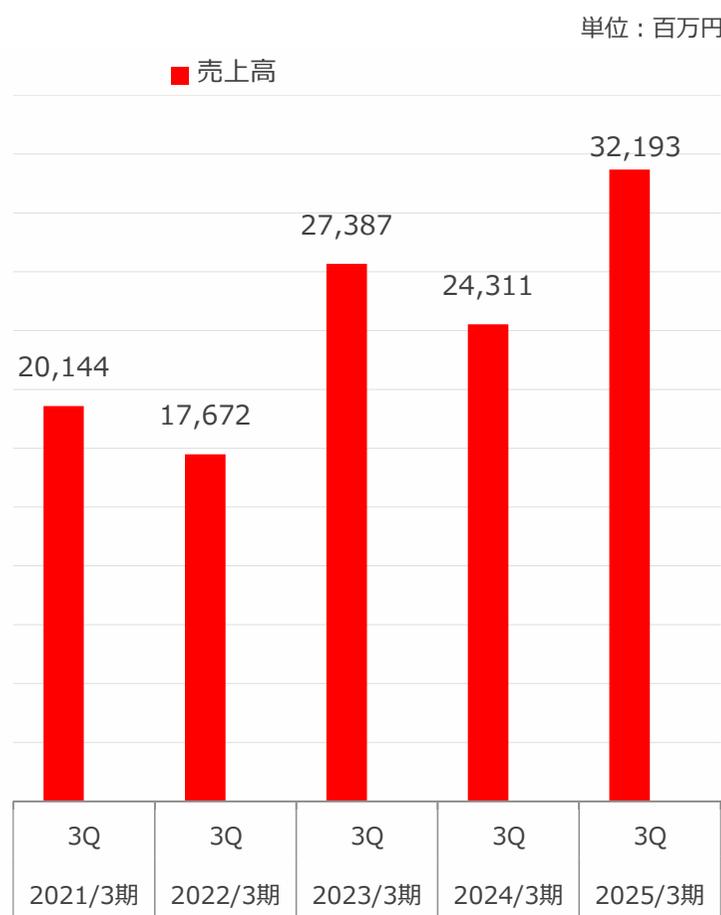
営業利益の増減要因



※資金原価、減価償却費を除く

四半期別業績推移（累計期間）

売上高は販売用不動産やリース物件の売却有無により各期で変動する傾向
利益面は一時的要因（23/3期3Q:航空機リース売却）を除いて每期着実な成長



貸借対照表

販売用不動産は売却により減少するも、リース債権及びリース投資資産、割賦債権が増加し、資産合計は51億円の増加

資産増加に伴い負債は28億円の増加。社債による長期安定的な資金調達を実施

単位：百万円

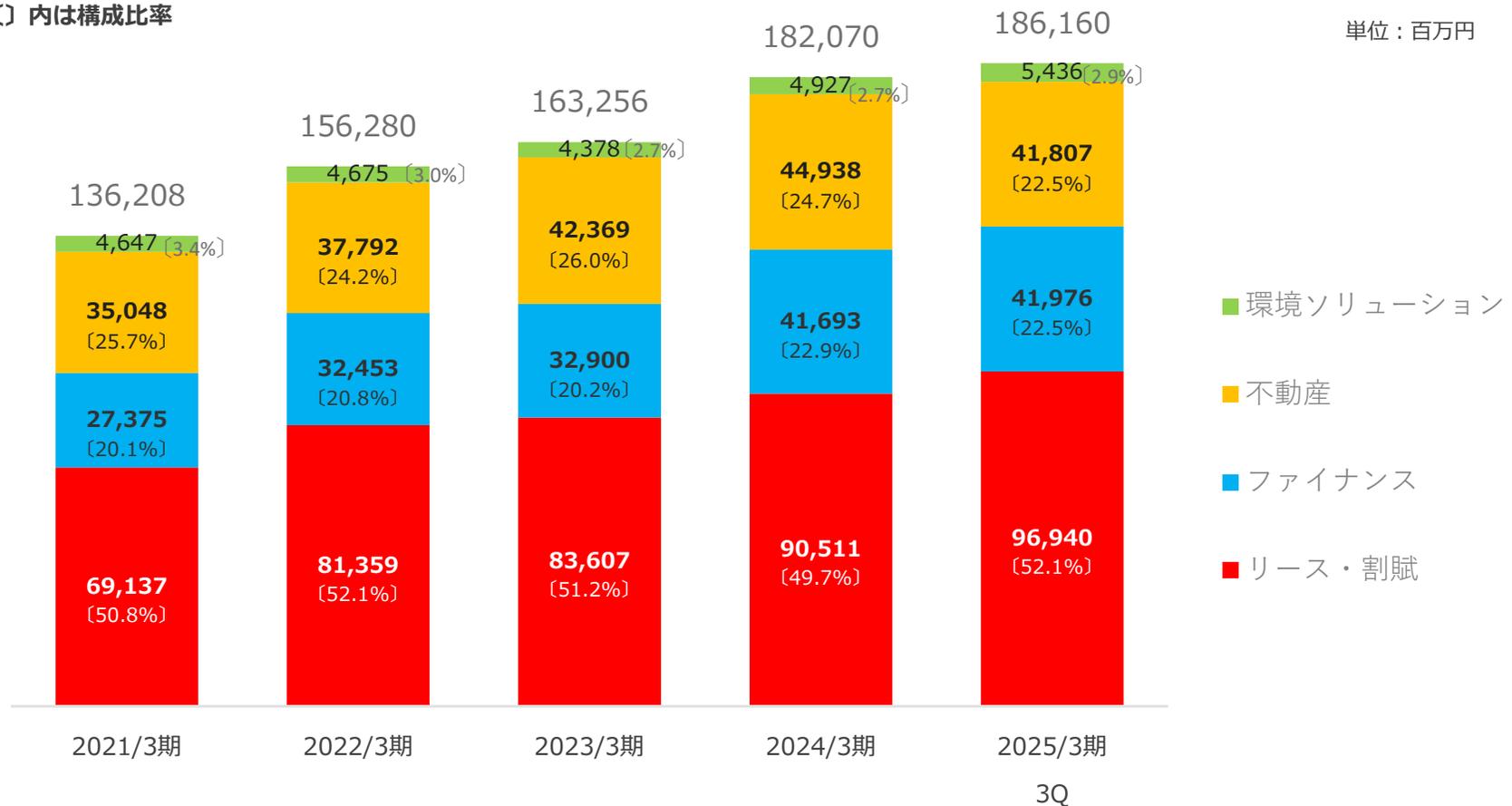
	24/3期末	25/3期 3Q末	増減額
流動資産	142,998	147,331	4,333
現金及び預金	5,087	5,849	762
割賦債権	25,756	29,315	3,559
リース債権及び リース投資資産	60,265	63,245	2,980
営業貸付金	41,262	41,631	369
販売用不動産	10,207	6,714	△3,493
固定資産	50,399	51,206	807
有形固定資産	39,617	39,623	6
賃貸不動産(純額)	30,356	30,734	378
無形固定資産	548	532	△16
投資その他の資産	10,234	11,050	816
投資有価証券	8,639	9,344	705
資産合計	193,398	198,537	5,139

	24/3期末	25/3期 3Q末	増減額
流動負債	55,179	56,387	1,208
短期借入金	44,998	46,022	1,024
固定負債	98,076	99,688	1,612
社債	9,300	18,900	9,600
長期借入金	78,064	69,841	△8,223
負債合計	153,256	156,075	2,819
純資産	40,142	42,461	2,319
負債純資産合計	193,398	198,537	5,139
自己資本比率 (%)	20.6	21.1	0.5

営業資産の推移

- 単純なボリューム拡大に留まらず、リスク・リターンのバランスに留意した資産の入替に取組み、各セグメントの特性を踏まえた営業資産の純化を推進
- 2025/3期3Q営業資産残高合計は前期末比+40億円（+2.2%）の1,861億円。商業用設備、土木建設機械、建物リースなど中心にリース割賦残高が伸長

※ □ 内は構成比率



トピックス……半導体関連の取組状況

半導体関連設備投資への戦略的アプローチ

- 半導体メーカーによる工場建設やサプライチェーン機能増強といった直接的な投資と、周辺の住居や商業施設、社会インフラ等に対する関連投資が想定され、当社としては両方に注力し業容拡大を図る
- 現時点においては、半導体関連企業の出店拡大や物流倉庫建設などの投資が目立つ状況で、**関連投資まで本格的に拡がるにはもう少し時間を要する**と想定。徐々に実績は積み上がりつつあるものの、**設備投資需要はまだ始まったばかり**との認識。

2025/3期 3Qにおける取組状況

リース 割賦

- 土木建設機械・輸送用機器の新規実行高が伸長（前年同期比+35%）
～ **大企業の工場等建設**に伴って、2次請け・3次請けの**地場業者にまで投資需要が拡大**
- オフィス倉庫（熊本県大津町）の建物リースを実行。熊本/半導体関連の建物リース取組みとしては、複合商業施設（熊本県菊陽町）、物流倉庫（鹿児島県薩摩川内市）に続く3例目
～ 国内半導体関連企業の**事務所移転・拡充ニーズに対応**

不動産

- 前期に仕入れていた熊本県大津町の開発用地を売却
- 当社取引先が保有する土地の売買（熊本県大津町）を当社が仲介し手数料獲得
～ 熊本県内を中心に**開発用地の取得競争が加速**。売買・仲介・開発等、多方面から当社も関与



物流倉庫（鹿児島県薩摩川内市） オフィス倉庫（熊本県菊池郡大津町）

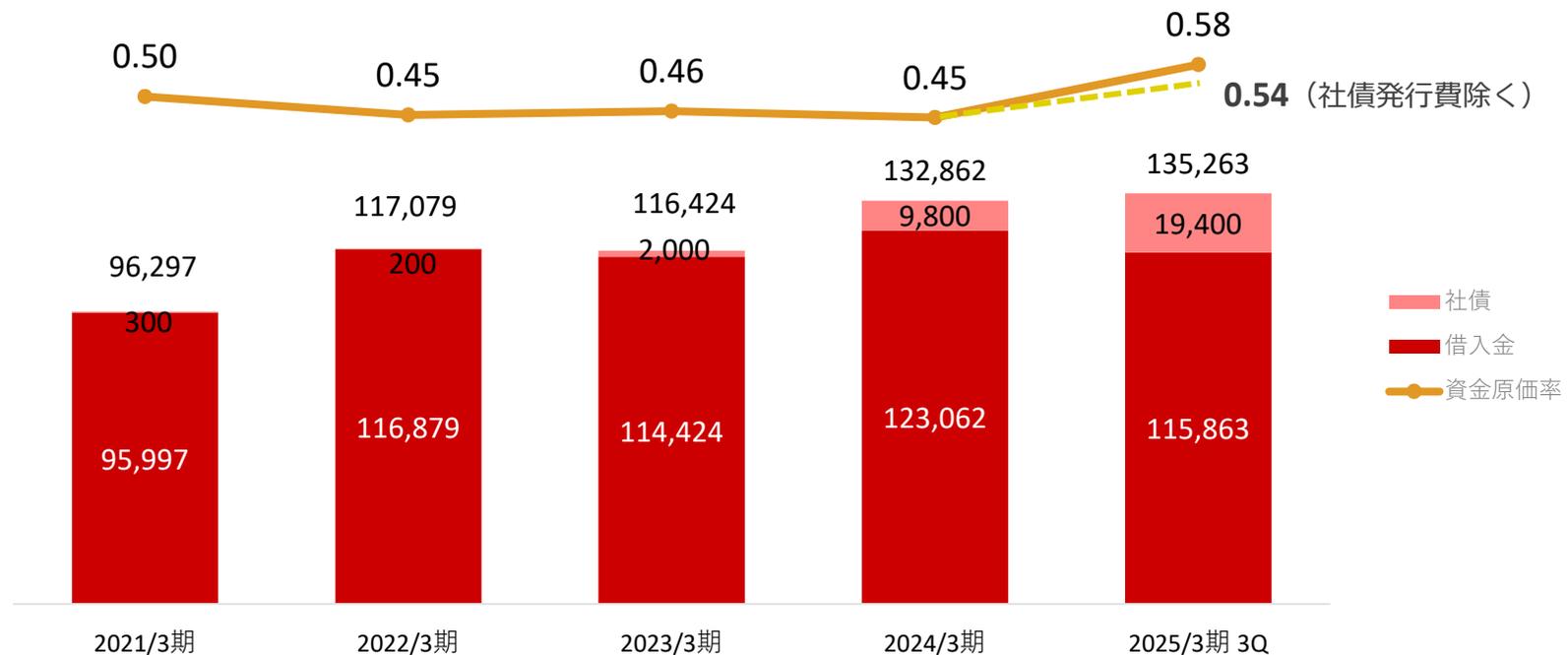
ラフタークレーン（左:タダノ製70トン、右:タダノ製13トン）

調達状況

金利上昇の影響に加えて、普通社債100億円の発行費用等により資金原価率は上昇
 短期的にはコスト増加が先行するものの、リース割賦・ファイナンスの新規実行分への
 転嫁を進め、中長期的にはコスト上昇分を吸収する見通し

【借入金・社債残高 および 資金原価率】

(百万円、%)



(注) 資金原価率 = 資金コスト ÷ 営業資産 (期首期末平均残高)

資金コスト = 資金原価 + 支払利息 + 社債発行費

トピックス……7月24日に第2回無担保社債を発行

第2回無担保社債を発行

第2回無担保社債（以下「本普通社債」）の概要は以下のとおり。
 本普通社債の発行は、2023年7月に続き、2回目の公募による起債。
 今後も資金調達手段の多様化を図り、資金調達の安定性向上に努める方針。

【本普通社債の概要】

名 称	株式会社九州リースサービス第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）
社 債 の 総 額	100億円
各 社 債 の 金 額	1億円
利 率	年1.088%（固定）
償 還 期 限 （ 年 限 ）	2029年7月24日（5年債）
払 込 期 日	2024年7月24日
利 払 日	毎年1月24日及び7月24日
取 得 格 付	A（株式会社日本格付研究所） A（株式会社格付投資情報センター）
引 受 会 社	みずほ証券株式会社、SMBC日興証券株式会社、野村證券株式会社
財 務 代 理 人	株式会社西日本シティ銀行
振 替 機 関	株式会社証券保管振替機構

トピックス……当社格付は据置（12月公表）

日本格付研究所（JCR）

- 発行体：株式会社九州リースサービス

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回無担保社債 （社債間限定同順位特約付）	50億円	2023年7月27日	2028年7月27日	0.764%	A
第2回無担保社債 （社債間限定同順位特約付）	100億円	2024年7月24日	2029年7月24日	1.088%	A

格付投資情報センター（R&I）

- 発行体：株式会社九州リースサービス

【維持】

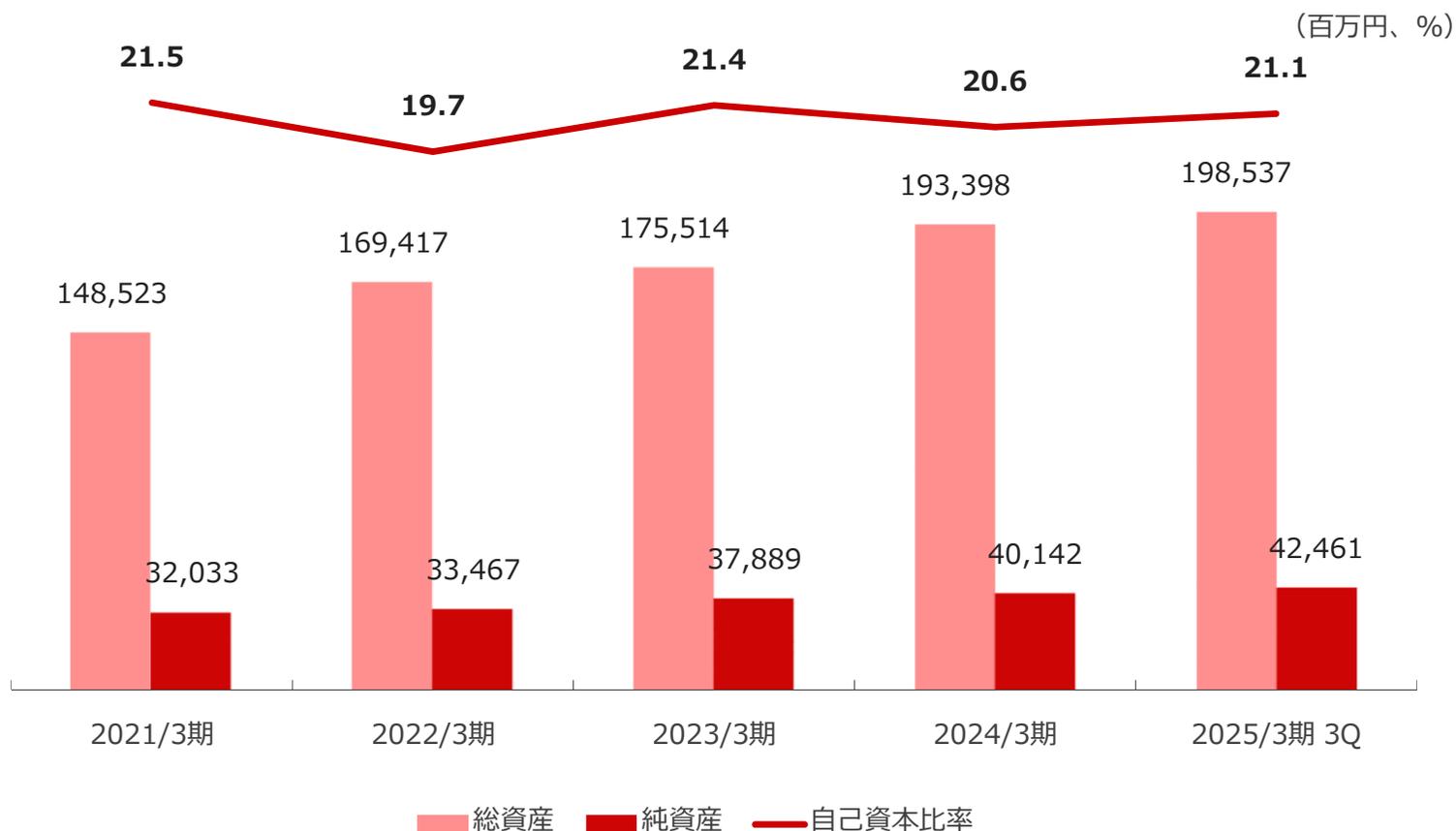
名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A	安定的

名称	発行額	発行日	償還期日	格付
第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2023年7月27日	2028年7月27日	A
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2024年7月24日	2029年7月24日	A

名称	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録（社債）	200億円	2024年4月26日～2026年4月25日	A

総資産・純資産・自己資本比率の推移

ROE向上に向けたバランスシートコントロールを重視。
 安定的な資金調達の実現に向けた外部評価の維持・向上や、リスクバッファの観点から一定の自己資本比率は確保し、高収益資産の積み上げ・入替により収益性を高めていく方針



2

セグメントの状況

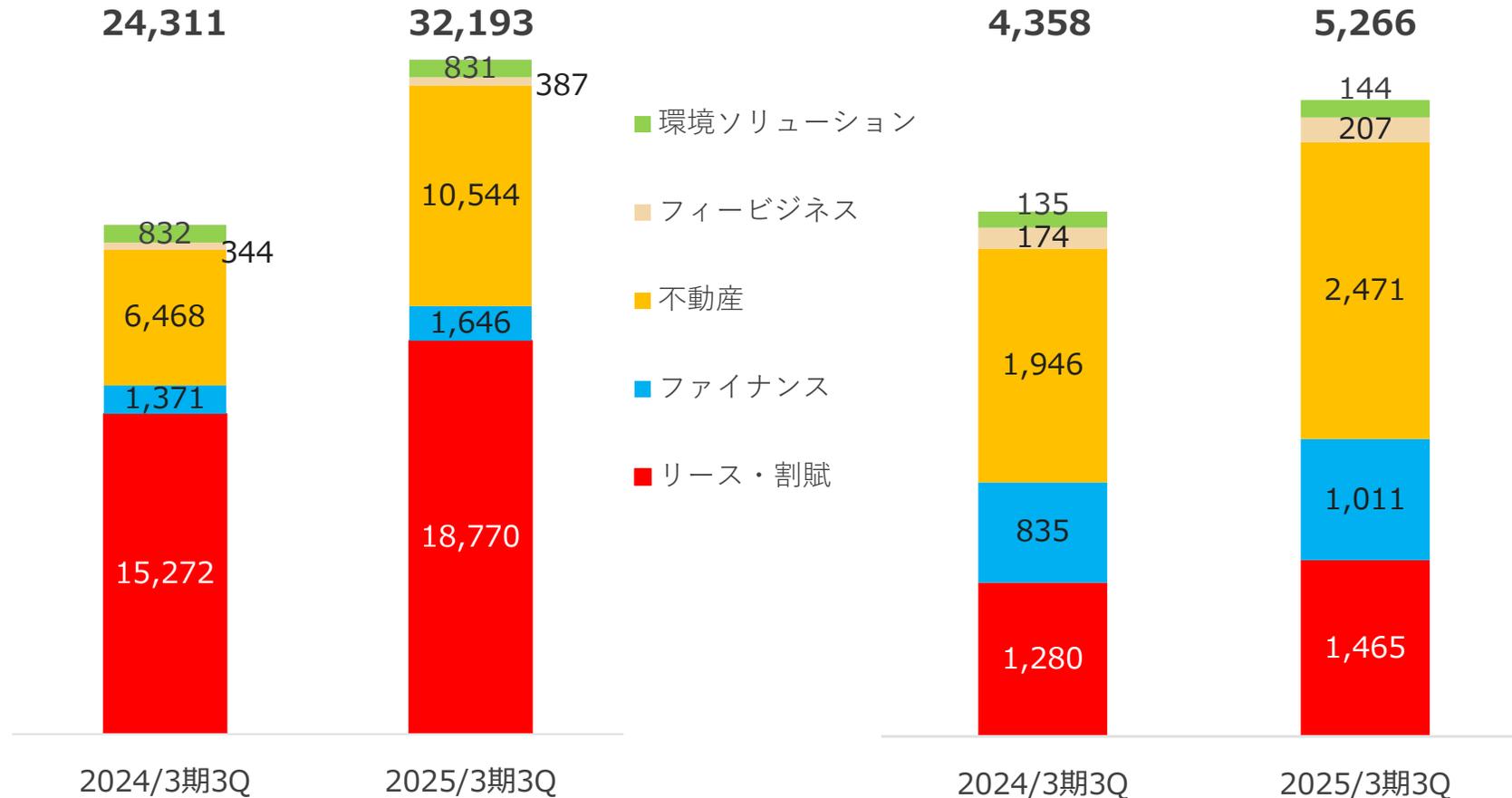
セグメント別 売上高・利益

セグメント別では、リース・割賦事業、不動産事業において売上高が大きく伸長
全セグメントとも増益の実績

単位：百万円

【売上高】

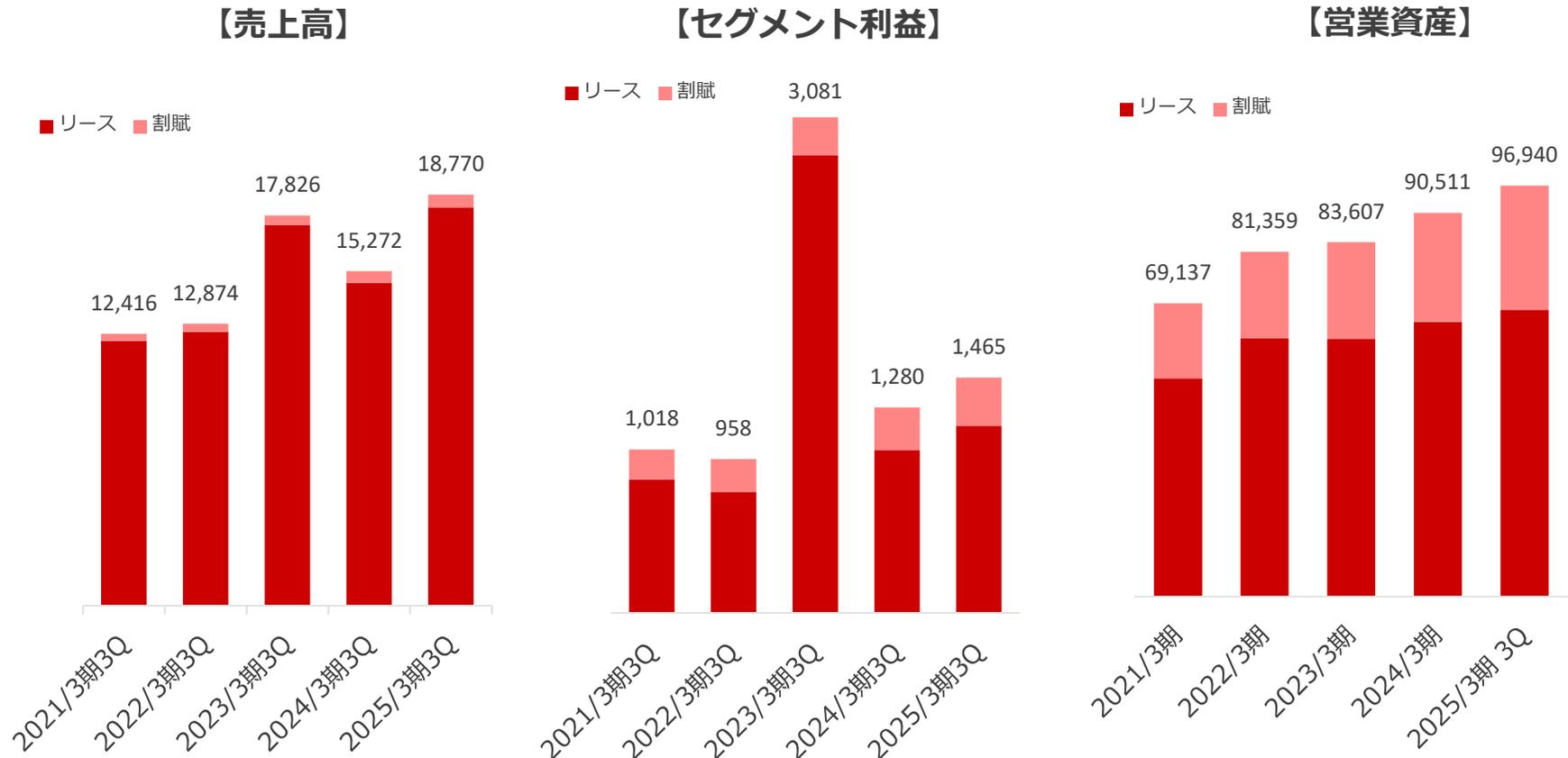
【セグメント利益】 セグメント間調整前



セグメントの状況 (リース・割賦) ①

建物リース物件売却により大幅増収の実績。環境関連分野向け機械設備や、建物リースを中心に新規契約を積み重ね、営業資産の入替・拡大を推進
 売上高は前年同期比22.9%増、営業利益は14.5%増、営業資産残高は前期末比7.1%増

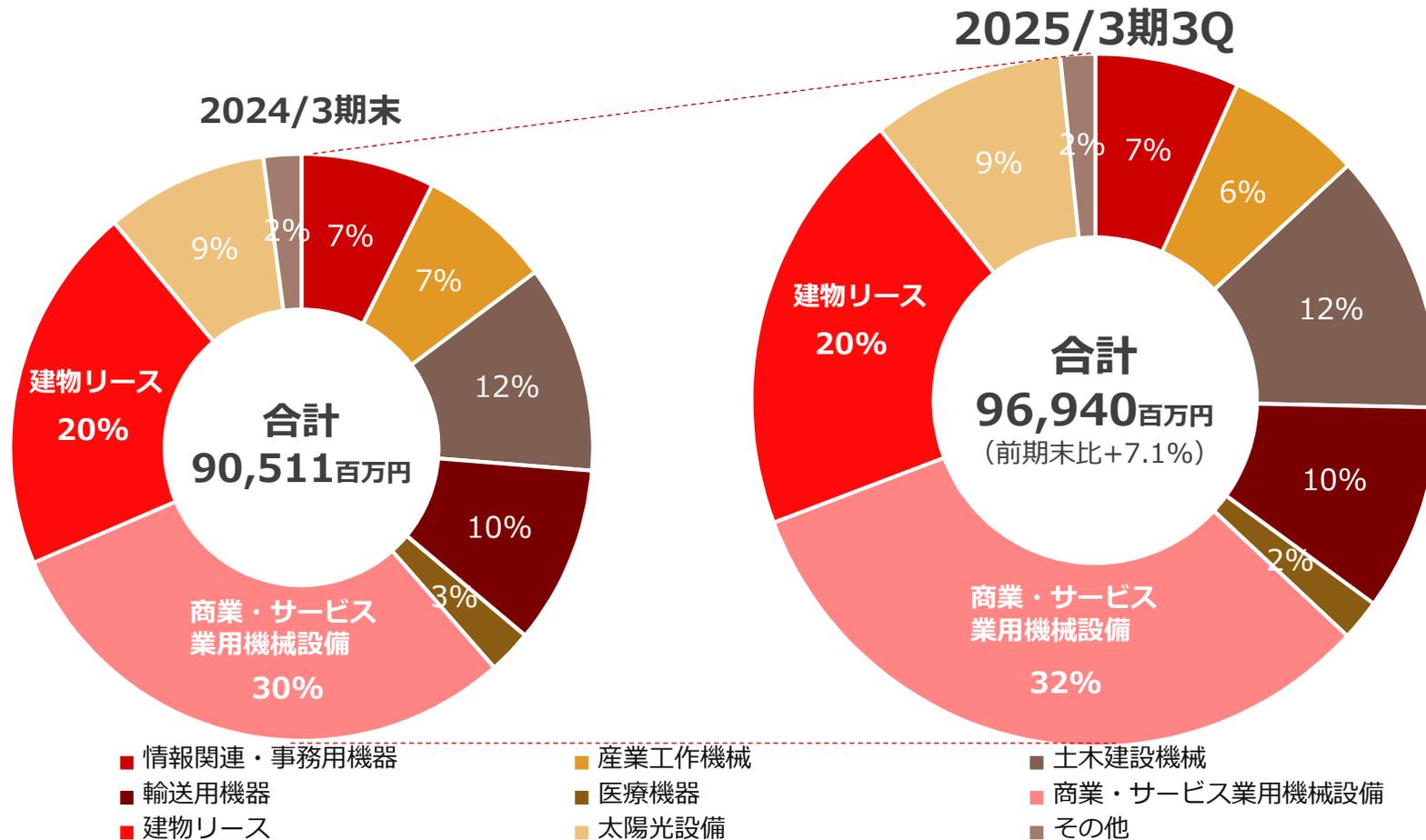
(単位：百万円)



セグメントの状況 (リース・割賦) ②

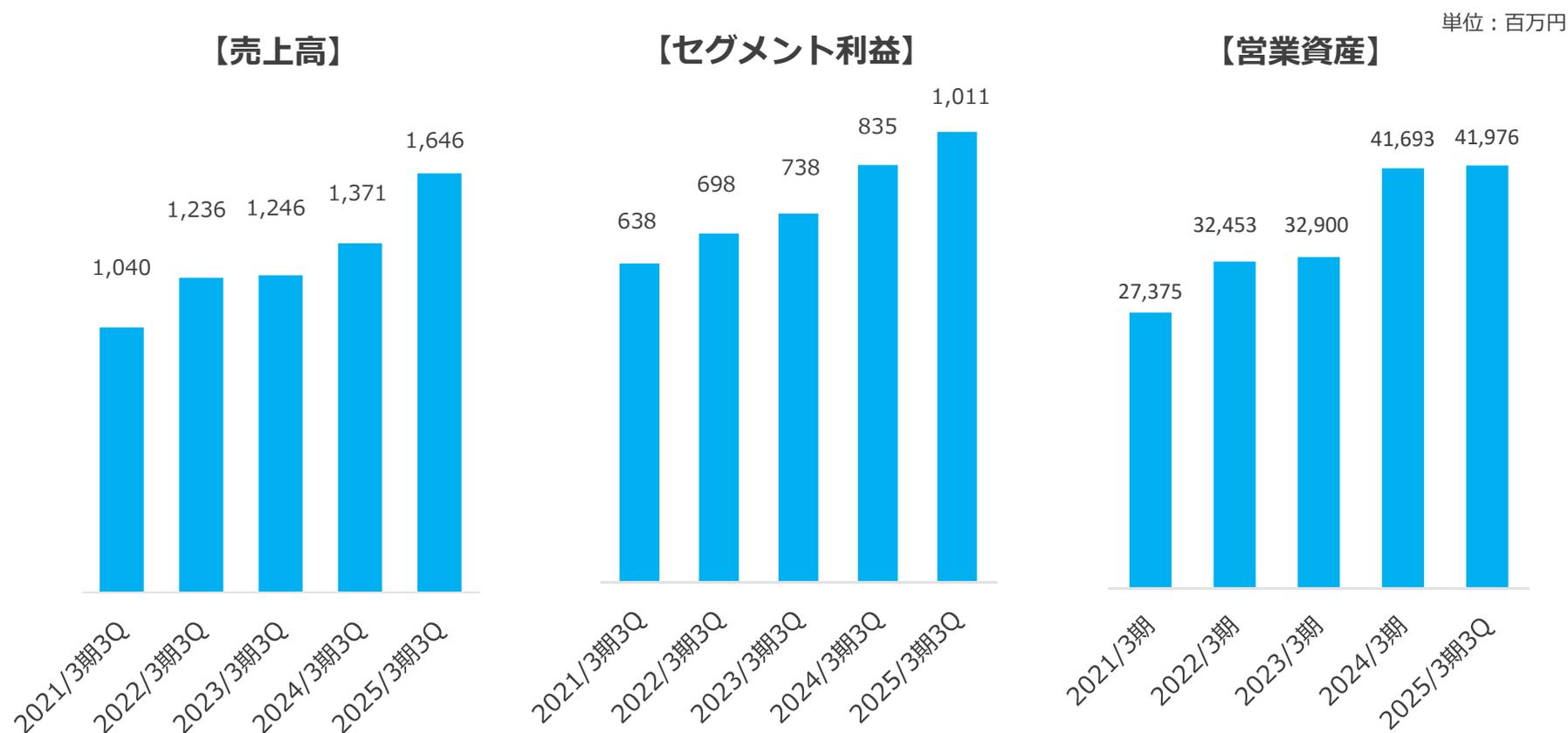
商業・サービス業用機械設備（什器、店舗機械設備等）のシェアが高い点が特徴
 足許では収益性が高く比較的長期契約となる建物リースに注力し拡大

【リース・割賦営業資産残高（機種別）】



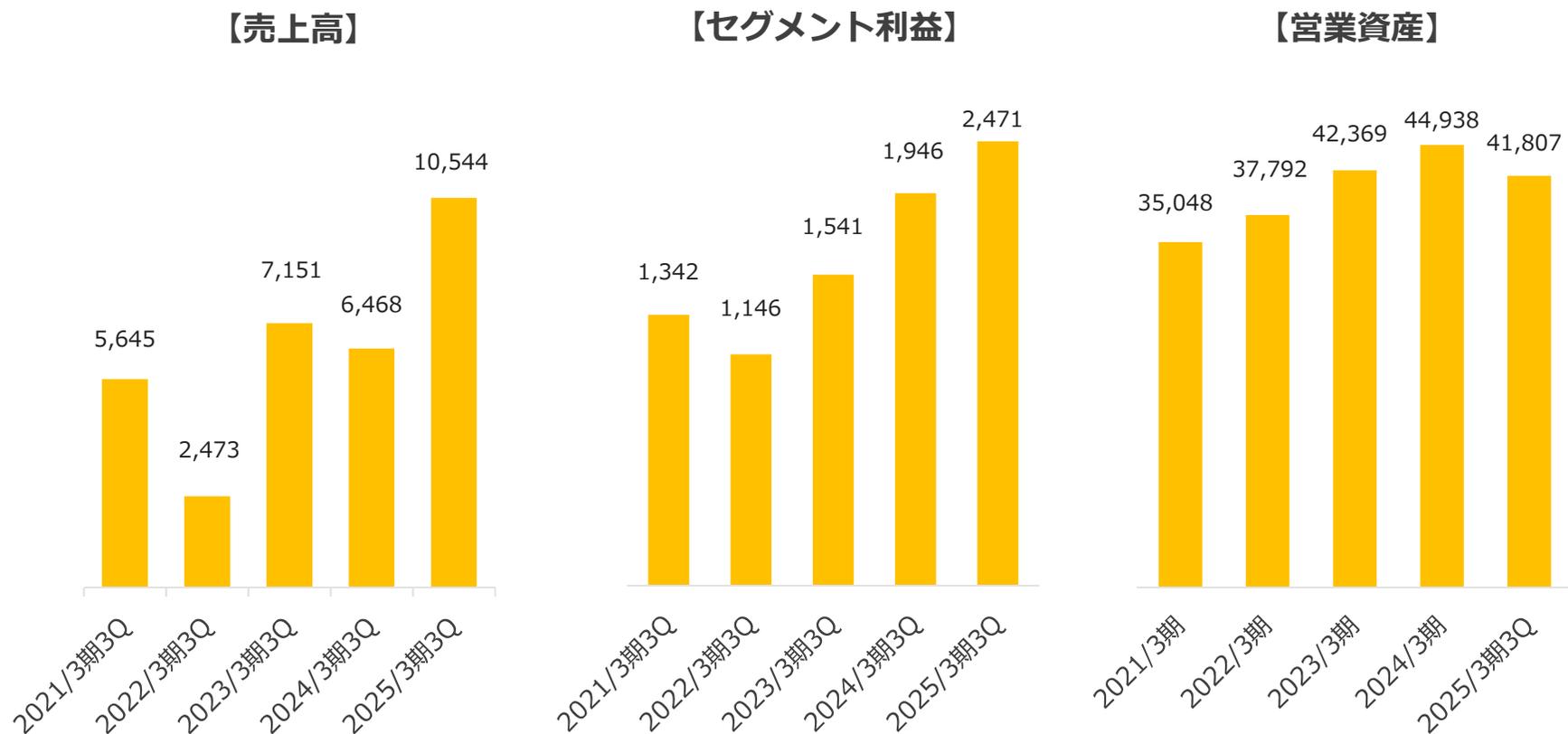
セグメントの状況 (ファイナンス)

前年を上回る貸出平残の確保とあわせて、金利動向を踏まえて変動金利貸出を増やすなど、適正な金利設定による営業活動が奏功し、利息収入を中心に好調な実績
売上高は前年同期比20.0%増、営業利益は前年同期比21.0%増と、増収増益



セグメントの状況（不動産）①

- 不動産販売収入に加え、昨年グループ化した西日本不動産開発との連携により不動産仲介収入が増加
- 売上高は前年同期比63.0%増、営業利益は27.0%増、営業資産残高は売却が新規取得を上回ったため前期末比7.5%減



セグメントの状況（不動産）②

- 時機を捉えた不動産の取得・売却により、資産を入れ替えながら収益を確保
中長期的に保有する賃貸不動産はほぼ100%の稼働率を維持し、安定した収益を計上
- 不動産仲介収入は、昨年グループ化した西日本不動産開発との人的交流やシステム連携、情報共有などのシナジーにより好調な実績を確保

■ 不動産セグメント内訳

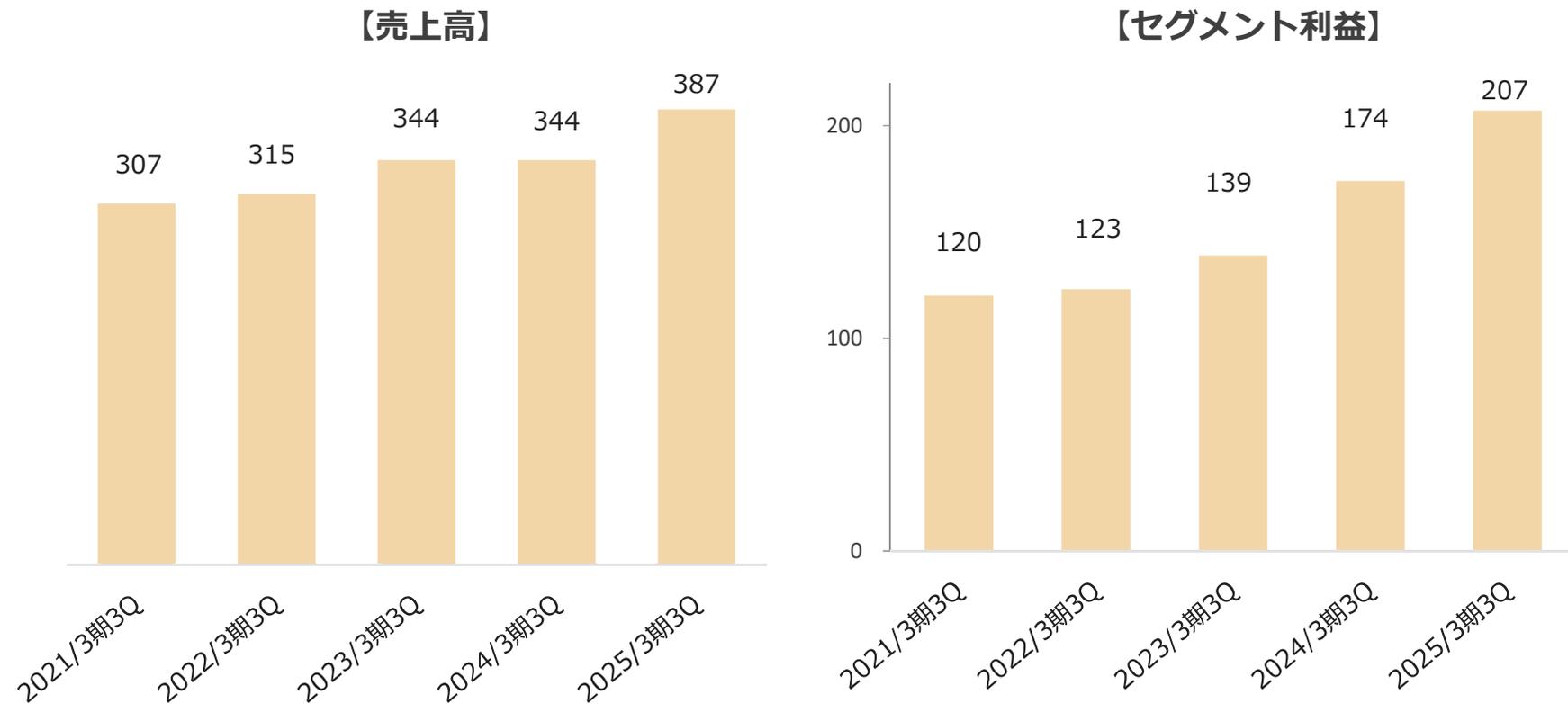
(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2024/3期 3Q	2025/3期 3Q	増減率 %	2024/3期 3Q	2025/3期 3Q	増減率 %
賃貸不動産	2,416	2,495	+3.3	1,134	1,200	+5.8
販売用不動産	3,596	7,181	+99.7	686	807	+17.6
仲介手数料	331	665	+101.0	88	354	+299.6
その他	124	200	+61.2	36	109	+196.8
合計	6,468	10,544	+63.0	1,946	2,471	+27.0

セグメントの状況 (フィービジネス) ①

カーリースの紹介手数料収入及び保険代理店収入が堅調に推移
売上高は前年同期比12.4%増、営業利益は18.6%増

単位：百万円



セグメントの状況 (フィービジネス) ②

■セグメント内訳

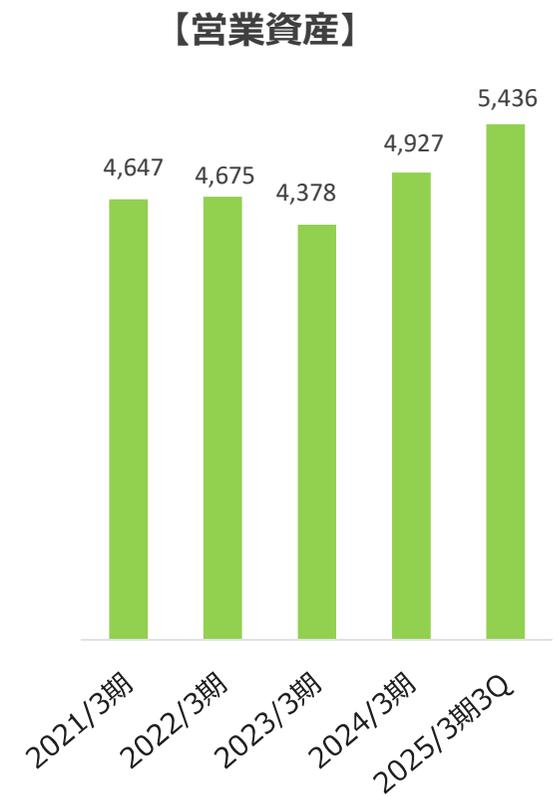
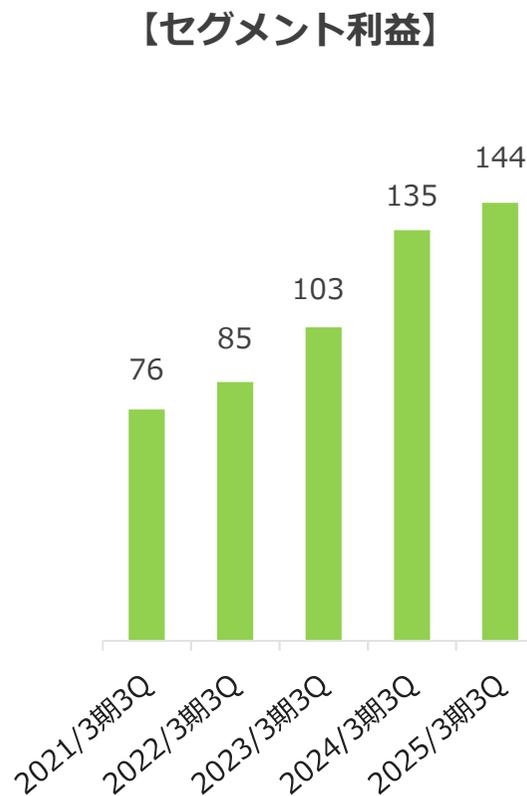
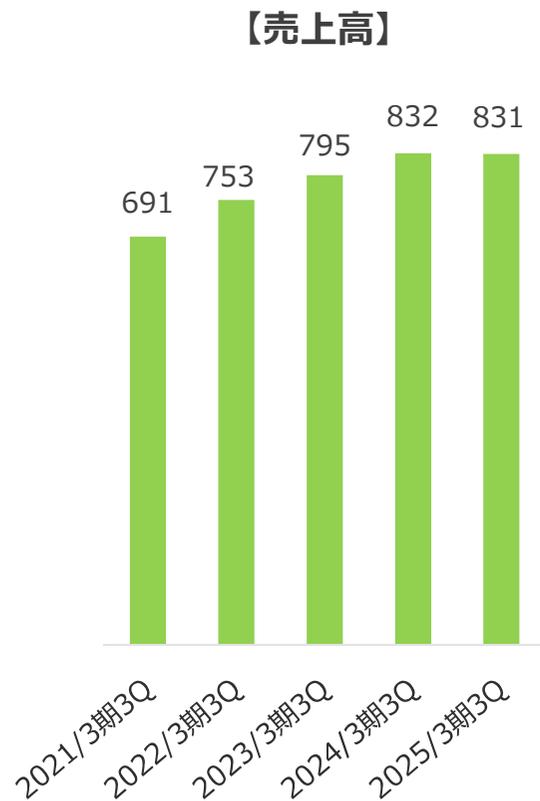
(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2024/3期 3Q	2025/3期 3Q	増減率 %	2024/3期 3Q	2025/3期 3Q	増減率 %
カーリース紹介料	217	227	+4.4	100	102	+1.9
生命保険手数料	53	74	+38.9	30	48	+59.8
損害保険手数料	57	74	+28.5	33	48	+42.5
その他	15	11	△27.2	9	7	△21.6
合計	344	387	+12.4	174	207	+18.6

セグメントの状況 (環境ソリューション)

2020年4月より、SDGsに貢献する環境関連ビジネスへの取り組みを踏まえ、従来その他に区分していた「売電事業」、「リース・割賦」に含まれていた「LEDレンタル事業」を「環境ソリューション」に変更

売上高は前年同期と同水準も、営業利益は6.6%増、営業資産残高は前期末比10.3%増



3

2025年3月期 業績予想

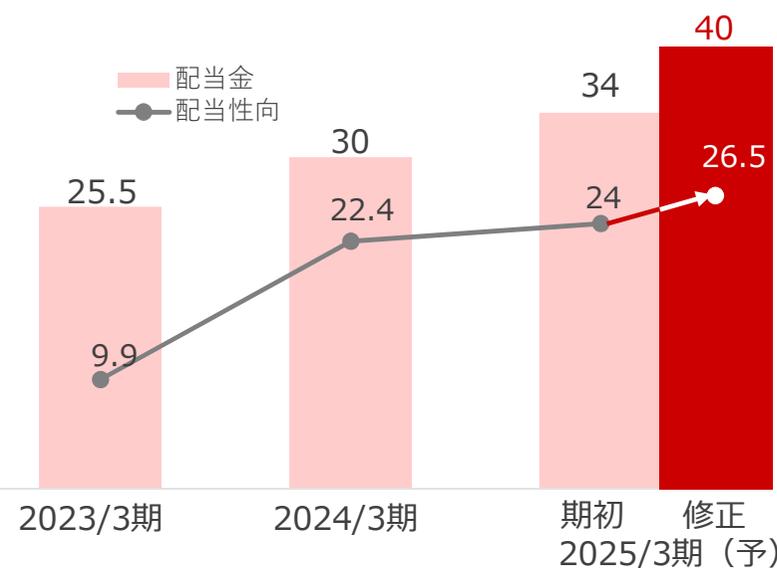
2025/3期 通期業績予想

通期業績予想及び配当予想は、直近公表値を据え置き

単位：百万円、%

	2024/3期 実績	2025/3期 予想 (11/6修正)	増減額	増減率
売上高	33,508	38,500	+4,992	+14.9%
営業利益	4,635	5,300	+665	+14.3%
経常利益	4,593	5,100	+507	+11.0%
当期純利益	3,048	3,400	+352	+11.5%

	2024/3期 実績	2025/3期 予想 (11/6修正)
中間配当	12円50銭	17円00銭
期末配当	17円50銭	23円00銭
合計	30円00銭	40円00銭



【お問い合わせ先】

株式会社九州リースサービス 総合企画部

TEL 092-431-2915

ホームページ : <https://www.k-lease.co.jp/>

■本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転載等を行わないようお願いいたします。